

授業コード： ai252031

授業科目名： 基礎物理学

担当教員名： 中島 千尋

履修者数： 7 名

回答者数： 6 名

学部：	医療福祉	0	現代社会	0	経営法／総合政策	0	工／科学技術	6
	無回答	1						
専攻：	理学療法	0	作業療法	0	言語聴覚	0	視覚機能	0
	看護	0	保健福祉	0	現代社会	0	経営法／総合政策	0
	知能情報	6	建築環境	0	臨床工学	0	無回答	1
学年：	1年	0	2年	2	3年	3	4年	1
							無回答	1

設問文 5.そうである 4.まあそうである 3.どちらともいえない 2.あまりそうとはいえない 1.そうとはいえない		5	4	3	2	1	科目 平均	大学 平均
A：授業への取り組みについて								
問1.	授業の欠席回数は何回でしたか 5. 欠席なし 4. 全体の1～15% 3. 全体の16～30% 2. 全体の31～49% 1. 全体の50%以上	2	2	2	0	0	4.00	4.35
問2.	授業の他に学習活動（予習・復習・課題・レポートなど）をしましたか	2	2	0	1	1	3.50	4.36
問3.	授業を受講する前にシラバスを確認しましたか	2	3	0	1	0	4.00	4.40
問4.	授業内容でわからないことを先生に質問しましたか	1	1	2	0	2	2.83	4.02
B：授業内容・方法・成果について								
問5.	授業方法について、使われた方法すべてにマークしてください（複数選択可）							
	対面 6	遠隔(meet) 0	遠隔(音声ファイル) 0	遠隔(動画ファイル) 0				
	遠隔(チャット) 0	遠隔(課題) 0	遠隔(テスト) 0	無回答 0				
問6.	授業は系統的に整理、準備されていますか	3	1	0	2	0	3.83	4.57
問7.	授業内容は理解しやすかったですか	1	1	2	2	0	3.17	4.44
問8.	授業は質問しやすい環境でしたか	1	3	1	1	0	3.67	4.31
問9.	授業のスピードおよび学習量は適切だったでしょうか	1	1	3	1	0	3.33	4.46
問10.	シラバスまたは授業初めに掲示された到達目標は達成されましたか	1	1	2	1	1	3.00	4.46
問11.	授業内容は興味深く、知的好奇心を触発されましたか	1	1	3	0	1	3.17	4.47
C：授業の全般的印象								
問12.	教員の熱意を感じましたか	2	2	1	0	0	4.20	4.57
問13.	この授業で専門的な知識や技術、または豊かな教養が身につきましたか	1	2	1	2	0	3.33	4.51
問14.	総合的に判断すると満足できる授業でしたか	1	2	2	1	0	3.50	4.51

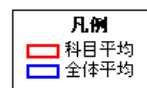
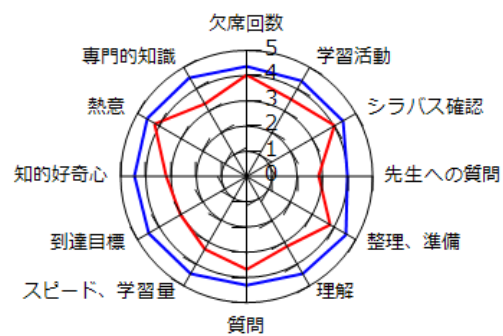
学生へのメッセージ

今年度の講義では「物理現象を方程式としてとく」という点を重視した講義の構成にしました。内容が少し高度化し解説すべきことが多くなってしまったことで、皆さん自身に手を動かしてもらう機会が少なくなってしまったと反省しています。

レポートや試験の形式でも強調した通り、物理学というのは計算で完結するものではありません。自然現象そのものは数式により動いているわけではありません。その一方で人間はそんな自然現象を「数式に落とし込んで」計算することで、「実際にやってみることなく、現象のその先を予言する」ことができるわけです。これを身につけるためには単なる計算で完結するだけではなく、計算結果を「どのようなことが起こっているのかの直感的（あるいは身体感覚的な）なイメージ」と結びつけ、相互に翻訳できることが大切です（このために、数式で計算した内容をグラフに書いたり、文章で述べてみたりすることが大切です）。これは機械の設計やプログラミングでも大切になってくることです。

みなさんどうか、文章やグラフの内容を計算に翻訳したり、逆に計算した結果を文章やグラフで表現してみることをこれからも忘れないでください。

レーダーチャート



総合評価

